

FUKU-FUKU



左古文男のクセがつよい妖怪展



四万十市出身のまんが家・文筆家、左古文男が手掛けた「クセがつよい妖怪事典」。妖怪は恐い存在なのか？ いえいえ、「クセがつよい妖怪」、「ヤバい妖怪」が存在することのこと。

こう聞くとイメージしていた妖怪とは違う気がしますね？ ユルって？ クセって？ ヤバって？ ほらほら、興味がわいてきたでしょう？ 知らないほうが良かったかも知れない…くらしい面白い。夏の高知で、クセがつよい妖怪たちとおとなりさんになってみましょう！

クセがつよい妖怪

「クセがつよい妖怪事典」の全原画80点を展示します。

妖怪は左古氏が「ユルい、クセがつよい、ヤバい」をテーマに選んだ「クセ」がある妖怪たちです。あなたのお気に入りの妖怪を見つけてください。

高知の妖怪

高知県に残されている沢山の妖怪伝承を、歴史的資料やまんがで紹介いたします。

江戸時代に描かれた全17体の高知の妖怪などを収録した「土佐お化け草紙」を高知県立歴史民俗資料館の協力を得て展示します。

また、幡多地域にまつわる妖怪・怪異・あやかしの話を、四万十市で活動する四万十漫画倶楽部が手掛けている「幡多妖怪地図」二幡多妖怪図録で紹介いたします。



「土佐お化け草紙(複製)」
高知県立歴史民俗資料館蔵

おまじない

左古氏のまんが家としての仕事を紹介します。

「猫町の風待茶房」や井上淳哉氏との共著「四万十怪奇譚」に収録されている「四万十川の猿猴」などのまんがが原稿、安倍夜郎氏との共著「四万十食堂おかわり！」などで描かれた似顔絵原稿を展示します。



「四万十食堂おかわり！」より

関連イベント

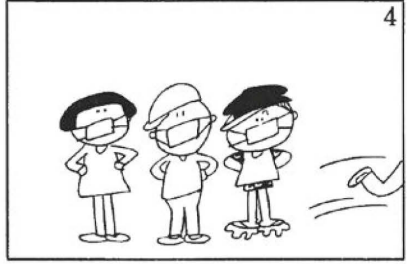
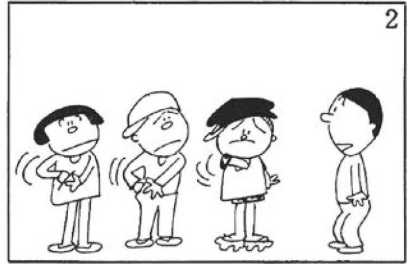
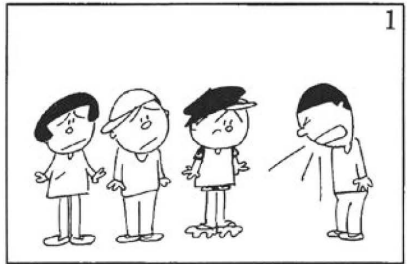
参加コーナー「妖怪掛所」

世の中にはいろんな妖怪がいるといわれています。見たことがある、こんな妖怪がいたら…など、みんなで妖怪を描いて会場に飾ろう！



フクちゃん

横山隆一 (1956年)

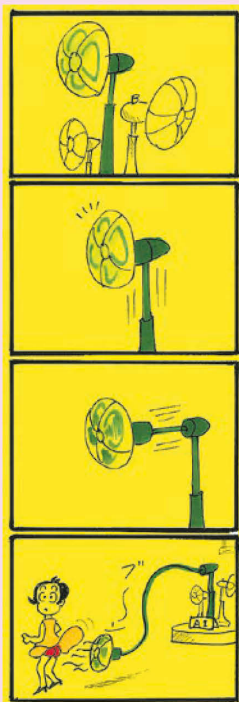


期間 ● 2020年7月18日(土)～9月6日(日)
場所 ● 横山隆一記念まんが館企画展示室
時間 ● 9:00～18:00
休館日 ● 月曜日(祝休日の場合は開館)
観覧料 ● 一般500円(400)、中学生・高校生200円(160)、小学生以下無料
※()内は団体(20名以上)料金
※65歳以上の方及び身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保険福祉手帳をお持ちの方とその介護者1名は半額料金
※企画展観覧者は、常設展示を200円で観覧できます
主催 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

4コマまんが大賞 作品募集中

「フクちゃん」を代表作とする横山隆一が、4コマまんがの名手であったことや、ストーリーまんがが全盛の時代に4コマまんがの良さを見直して「こつこつこつ」の主旨のもと、故やなせたかしさんのご支援を頂いたことから2005年に始まったこの賞も、今回で16回目となります。毎回全国から多くの方々にご応募頂いており、一般部門のフクちゃん大賞50万円のほか下記の通り豪華な賞金・賞品が人気です。審査は高知のまんが家、矢野徳さんとくさか里樹さんが務めます。

第15回4コマまんが大賞 一般部門・フクちゃん大賞



「人工知能」
ダンヨシコ

第15回4コマまんが大賞 ジュニア部門・フクちゃん大賞



「ペンギン流 夏の過ごし方」
築井稟乃

限られたスペースの中で起承転結を丁寧に描いたり、予想外のアイデアを発展させたり。4コマまんがならではの自由な作品をお待ちしています。

部 門	一般部門（中学生以上）・ジュニア部門（小学生以下） *プロ・アマ不問
応 募 規 定	・白黒またはカラーの4コマまんが（生原稿） ・用紙：B4版（縦25.7cm×横36.4cm）の市販のケント紙、画用紙、まんが用原稿用紙 ・作品・縦32cm×横10cmの「縦4コマ」形式 ・自作の未発表作品に限る ・1人につき3点以内 ・コンピューターグラフィックスは不可 *詳細はまんが館ホームページをご覧ください。
締 切	9月8日（火） 必着
発 表	10月下旬 まんが館ホームページ・館報「FUKU-FUKU」等で発表
表 彰 式	11月7日・8日の「まんさい-こうちまんがフェスティバル2020」内

《賞金・記念品》

賞（点数）	一般部門	ジュニア部門
フクちゃん大賞（1点）	賞状・賞金50万円	賞状・図書カード2万円
高知市長賞（1点）	賞状・賞金10万円	賞状・図書カード1万円
やなせ 兔 賞（1点）	賞状・賞金10万円	賞状・図書カード1万円
よさこい 賞（数点）	賞状・賞金各5万円	賞状・図書カード各5千円
学 校 賞（数点）	—	賞状・トロフィー

「酒井敦美 光の切り絵展」 開催延期のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年4月24日（土）から開催を予定していましたが、「酒井敦美 光の切り絵展」は2021年に延期とさせていただきます。本展覧会を楽しみにされていましたお客様には深くお詫び申し上げます。すでに前売り券を購入いただいたお客様は、お手数ですが返金手続きをお願いいたします。返金手続きにつきましては、KUTVテレビ高知までご連絡をお願いいたします。



申し込み
・
お問い合わせ先

〒781-1952 高知市九反田2-1-1
高知市文化プラザかるぽーと内 横山隆一記念まんが館
TEL: 0888-8883-15029
FAX: 0888-8883-15049
URL: <http://www.ktca.jp/mangakan/>

KUTVテレビ高知
0888-880-11110
<https://www.kutv.co.jp/>

隆一とオリンピック 高知県立文学館 常設展企画コーナー 「スポーツと文学」展に寄せて

展覧会 ●「スポーツと文学」作家がとらえたあの一瞬。物語る文学
会 期 ●2020年4月1日(水)〜
2020年9月6日(日)
場 所 ●高知県立文学館 常設展示室内

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった東京2020オリンピック。大成功と言われている1964年の前回東京オリンピックの際にも、実は様々な困難があったことが、隆一の随筆からわかります。

1969年、大阪万博を前にして出版された『フクちゃん随筆』（講談社）の中の「いじわるノート」の章で、開催日までトラブル続きだった前回の東京オリンピックのことが書かれています。タイトルになっている「いじわるノート」とは、隆一が当時集めたオリンピック関連記事のスクラップブックで、オリンピックに批判的な論調の記事を集めたものだったようです。記事の抜き書きで、国内各地での聖火リ

レーでは事件・事故が相次ぎ、選手村の開村式には弁当の食中毒事件、横浜の五輪歓迎塔の倒壊、沖縄では米兵が国旗を破った事件、そんなごたごたの最中に、1961年からインドネシアが発展途上国に感染拡大したコレラが日本にも上陸。幸い局地的な感染で終息したのは防疫陣が不眠不休の活躍をしたことによるもの。と当時を振り返っています。大会開催すら危なくならないところだったようです。まさに歴史は繰り返す。

さらに9月24日に九州に上陸した台風20号は四国から瀬戸内、若狭湾経由で仙台まで通過し、関東ではオリンピックの施設が各所で破壊されるなど多大な被害が続きました。しかしながら、開会式当日は雨予報のところ、奇跡の抜けるような青空。悪い予測記事が出続けたが、「終わりよければ全てよし」の大成功オリンピックだったとし、トラブル続きの万博も小さなことにはくよくよしないほうがいい、と慰めています。



「スポーツと文学」展 会場

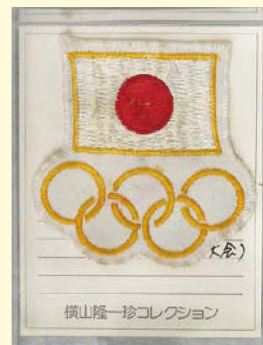


1964年東京オリンピック選手村通門証：横山隆一



1964年「東京オリンピックと毎日記者」と「いじわる案内図」

そして、隆一最後の選手が一人もいません。1932年ロサンゼルスオリンピックの競泳選手・横山隆志さんと1956年メルボルンオリンピックの競泳選手・野田芳郎さんです。この二人について隆一の書いたエッセイも紹介させていただきます。ぜひ文学館をご覧ください。



隆一珍コレクションより
“1988年ソウルオリンピック選手団使用ワッペン”



隆一珍コレクションより
“オリンピアゼウス神殿礎石”

決め台詞は、「私のノートでたった一行大当たりの記事がある。オリンピックのあとで不況がくる」という警告だ。これは大当たりだった。この「いじわるノート」を貸して欲しいとのリクエストを高知県立文学館よりいただきました。4月1日から開催されている企画展示「スポーツと文学」でオリンピック関連資料として展示したいということでしたが、大変残念ながら、このノートをまが館では所蔵していません。ただ、その他のオリンピック関連グッズ（珍コレクション他）や資料・原稿を提供し展示していただいています（写真参照）。

また、隆一の親類にはオリンピック選手が一人もいません。1932年ロサンゼルスオリンピックの競泳選手・横山隆志さんと1956年メルボルンオリンピックの競泳選手・野田芳郎さんです。この二人について隆一の書いたエッセイも紹介させていただきます。ぜひ文学館をご覧ください。

まんがと私



パークッションニスト
高知県観光大使
山村 誠一

まんがはうごかないのに……

えほんって「え」を見ながら少しの文字をよんでもらう、ページもめくって。文字だけとなると文や言葉をやむ、これって「読書」。まんがって絵に吹き出しの言葉があるもの、それがまんがっていいのか？ 文学的なまほくの順番。

まんがとの出会いは小学校の低学年。教科書よりまんがばかり見て「まんがばかり見てえ、勉強しいやアホになるで。」って言われてた。その後TVでのまんがにワクワクしてた。喋ったり、動いたり、総天然色で物語のつながりがすくと入ってきてね。あつ、こころへの話へいっちゃだめだめ。星飛雄馬の大リーグボール、バットに当たったり消えたり、今思えば「コマの描き方でワクワクして、ゆっくり読んだら球が断片的に、サラサラ読んだら速かったりね。ほら紙芝居みたいにサツとしたり、なんなら揺らしたり振ったりって演者の所作にドキドキして、あつ、脱線しちゃだめだめ」

でも実はここで、私のまんが読みは急に終わってしまいます。音楽が好きになってしまいました。まんがは止まっている絵だからこそ自分の頭の中で動かし、物語に寄り添ったり。音楽は視覚的な情報がないので「音のストーリー」を思いえがいてください。的に聴く側も演じる側も一緒に創る娯楽な時間。多感な時期に出会った「まんが」が想像の扉をノックしてくれてたのだな、カタカナの擬音好き。そんな演奏できます。



フクちゃん桜は今年も咲きました

「フクちゃん桜」は、鎌倉の横山隆一邸に植えられていた八重桜を、高知で接ぎ木し植樹した桜です。横山邸では、毎年4月に花見会を開き、漫画集団を中心とするたくさんの人々が交流の輪を広げていたそうです。



まんが館でも「フクちゃん桜」を囲んで交流する、毎年恒例の「花見の宴」を開催しておりましたが、今年は新型コロナウィルス感染症拡大を憂慮し、大変残念ながら中止となりました。幾重にも花弁を重ねる八重桜の姿は変わらず美しく、「きれいですね」と一言かける相手のいない寂しさを余計に感じてしまいました。

またきつと来年、この苦境を乗り越えて皆さまと再会し、フクちゃん桜を共に囲む日を心待ちにしております。

ライブラリー「特設コーナー」のご案内

まんが館3階にある「まんがライブラリー」は、入口入ってすぐ右がライブラリー1、正面奥のくつを脱いで入るスペースがライブラリー2で、合わせて15,000冊を超える蔵書をどなたでも無料で読むことができます。ライブラリー1には、主に、高知県出身まんが家の作品、漫画集団員の作品、まんがに関する書籍や美術書などが配架されています。

この「ライブラリー」のスペース外側、まんが館の受付カウンター前に「特設コーナー」が設けられているのはご存知ですか？開催中の企画展の内容とコラボしたり、各種まんが賞の受賞作品、話題の作品など、職員がテーマを決め、ライブラリーの蔵書からテーマに沿った作品を選び紹介するコーナーです。



現在の特設コーナーのテーマは「第23回文化庁メディア芸術祭 マンガ部門 受賞作品」。受賞作全てを取り揃えています！もちろん手に取って読むことも出来ます。今後、年数回テーマを変え、色々な作品を紹介していく予定です。ライブラリーご利用の際は、ぜひこのコーナーもご覧ください。

常設展示の魅力「カニバー」

常設展示で最初に目に入るの、大きな土佐和紙に描かれたカニの絵です。これは隆一が89歳の時の作品で、ジヨナサン・スウィフトの風刺小説『ガリバー旅行記』をモチーフにしています。大きな赤いカニが小さな黒いカニに捕らえられている様子が描かれています。



よく観なければわかりませんが、大きな赤いカニの足元に小さな赤いカニが一匹だけ描かれています。これは製作途中に赤の塗料を誤って垂らしてしまったものを、「大きなカニを助けるため、我先に馳せ参じた一匹のカニ」として描くことにしたためです。隆一のまんが的発想が大いに発揮されているエピソードと言えます。

というの一般的な作品解説ですが、本当にそうでしょうか？実は、隆一の初期の作品には、カニのサインが描かれているものがあります。カニに対して何か特別な思い入れがあり、実は小さな赤いカニは、隆一の何かのメッセージとして描いたものかもしれません。気になる方はまんが館に足を運んでみてください。



館のご案内

開館時間 9:00～18:00
休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館) 年末年始(12月28日～1月4日)
常設展示観覧料
一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円
お問い合わせ先
〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL: <http://www.kfca.jp/mangan/>
E-mail: mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぼーと3階の入口よりご入場ください。

新着図書(2020年2月～4月)

- 『闇金ウシジマくん』1～46巻 真鍋昌平
- 『ちはやふる』1～43巻 末次由紀
- 『ブルーピリオド』1～7巻 山口つばさ
- 『パンダ探偵社』 澤江ポンプ
- 『夢中さ、きみに。』 和山やま
- 『妖怪の子預かります』1～2巻 森野きこり
- 『環の影』 中川海二
- 『サメガール』 雪本愁二

そのほか続々入荷中！



朝、カーテンを開けて「いい気持ち～！」。朝ごはんができたなら「やったー！」。お洗濯をすると「お手伝いする！」と張り切り、お散歩に誘うと「よし行こう！」と先陣を切る。風を感じて「冷たいー！」、お花を見つけて「きれーい！」、土手に着いたら「やっほー！」、「おーいお魚さん！」、「鳩さんこんにちは！」…。新型コロナウイルスで社会が分断され、生活が一変したこの頃ですが、我が子と過ごす時間が増えたのは素直に嬉しいことです。何物にも縛られない子どもを見ていると、適度に社会通念から離れてみる大切さを感じます。大変な時期、心にゆとりを持ち生きていきたいものです。(竹)